

あきたの 地域医療通信

2009年9月 第5号

発行／秋田県健康福祉部医務薬事課
医師確保対策推進室



臨床研修医 1 年目の現場から

今年4月から市立横手病院で初期臨床研修を行っている、佐々木研先生から研修状況や病院環境など、現場の声を伝えていただきます。

横手病院での研修内容

4月から外科をまわっていたので、一日の流れとしては、午前中に入院患者さんの回診、処置をして、午後から手術に入るということが多かったです。手術では、開腹手術の助手や鼠径ヘルニアの執刀など、また気管挿管や中心静脈カテーテル挿入の手技など、やらせてもらえることが多いので、毎日が新鮮で刺激のある研修をさせてもらっていると思います。基本的には指導医の先生と相談して入院患者さんの治療方針を検討していますが、先日指導医が不在で病棟を任された際に、具合が悪くなった患者さんに対して自分の行った対応が、その患者さんにとっても感謝されたという事があり、とてもうれしかったことを覚えています。悩んだり疲れを感じたりすることもありましたが、3人の同期と7人の先輩研修医にも恵まれ、相談し合いながら楽しく研修することができています。

県外大学から県内病院を選んだ理由

私はもともと、秋田県に戻って来たいと思って福島県立医科大学に入りました。福島県内の医師不足や県立大学ということもあり、福島県に残ってほしいという声を聞くことも多かったのですが、秋田に



佐々木 研 先生

戻って来たいという思いは在学中も変わりませんでした。大学5年で秋田県内の研修病院を考えていたとき、気軽な気持ちで地元である横手病院に見学に来ました。そのとき、アットホームな医局の雰囲気と明るい病院の雰囲気にひかれ、研修プログラムなどはよく見ないうちに志望するようになりました。実際に働いてみても、横手病院は指導医の数も研修医の数もちょうどよいので、手厚い指導が受けられるだけでなく、研修医にやらせてもらえる手技の多さや、他科の先生へのコンサルトのしやすさなどを実感しています。また、患者さんの温かさや、横手

の豊かな自然に触れて生活していくうちに、やはり戻って来てよかったと感じています。

大学時代のエピソード

陸上部とスキー部に所属し、夏は陸上、トライアスロン、冬はスキーと、学業はそっちのけで年中活動に夢中になっていました。当初はスポーツそのものに一生懸命でしたが、次第に人との関わりの中楽しさを感じるようになり、部活動を通してできたたくさんの人とのつながりは今では私の宝物になっています。秋田に戻ってきて、秋田大学の出身者や学生と関わる事が多くなりましたが、部活動の知り合いという共通の話題で盛り上がることも多々ありました。大学時代、最も思い出深いのは大学6年の陸上の東医体という大会で、自分が一番力を入れてきた競技で自己ベストをだして入賞することができたことです。最後の大会で自分の努力が報われた瞬間、今まで努力してきてよかったと思うと同時に、支えてくれた全ての人に感謝の気持ちが生まれました。自分が一番夢中になるものが部活動から仕事に変わった今、この努力がいつか報われることを信じて、今はただ夢中で仕事に励んでいます。

今後の目標・抱負

まず医師として、普通のことができる医師になりたいと思います。人の話を聞く、ありがとうと言う、謝



指導医加藤健先生のもと手技を行う佐々木先生

るといった、人として普通のことができる医師でありたいと思います。初期研修の2年間の目標としては、必要最低限のことはできる医師になることです。救急などの現場でも、この人になら安心して任せられると思われる研修医になりたいと思います。また、せっかくスーパーローテートという研修システムがあるので、これを利用しない手はないと思います。いろいろな科をまわって自分の知識や手技の幅を広げ、将来的にもその経験を役立たせることができればと思っています。初期研修が終わってからの目標としては、専門医を取得して、秋田県の医療に貢献していきたいと思っています。

女性医師支援窓口

「あきた女医ネット」

開設のお知らせ

育児・勤務環境・再就職のことなど
何でもご相談ください。

相談の内容に応じて、女性医師支援窓口ネットワーク相談員の医師が対応します。

女性医師、女子医学生の皆さん、是非HPをご覧ください。



女性医師支援窓口ネットワーク
あきた女医ネット

URL <http://www.akita-joi.net>

「あきた女医ネット」事務局

秋田市千秋久保田町6-6 (社)秋田県医師会内
TEL: 018-833-7401 FAX: 018-832-1356



秋田県の地域医療への使命感を持った医師の育成事業について

この事業は、希望と目的を持って自分の将来を考える時期にある中学生・高校生とその保護者の皆さんに、医療の魅力、秋田大学医学部の地域医療における役割などを伝えることにより、秋田の医療に興味を持ってもらうとともに、その結果、将来1人でも多くの秋田の地域医療を担う医師が育成されることを目的として、秋田大学医学部、秋田県教育庁、秋田県健康福祉部の主催で、6月から学校訪問を始めました。

講師は、秋田大学医学部総合地域医療推進学講座寄附講座教授の長谷川仁志先生が務め、横手高校、本荘高校、秋田北高校、能代高校、秋田高校の5つの高校と、大館国際情報学院の中高一貫校、羽後中学校のあわせて7つの学校で実施しました。

講習会では、「秋田大学の医学部には、何人ぐらいの学生がいるのでしょうか」（1学年115名で秋田県出身者は20～30名）といった概要から、1年生から臨床の勉強を組み入れているといった秋大のカリキュラムの特徴や医師になるまでの数々のテストの内容、といった勉学の話、部活動の紹介、医師になってからの臨床研修制度や大学院、国際学会への参加まで幅広いお話に、中高生は食い入るように聞いていました。また、聴診器で心臓の音を聴く体験学習などもあり、学生は興味深げに聴診器を手にとっていました。

受講者の感想は、ますます医師への道を目指したくなったといったものなど様々ですが、特に多いのが、長谷川先生が強調した「これからの医師は、総合力＝学力×人間力」で、勉強だけでなく部活もがんばって人間力を向上したいという頼もしい意見もありました。

10月からは、さらに全県で中学校8校の訪問を予定しており、将来秋田の地域医療を担おうという意欲を持った中高生が、一人でも多く医学の道を志してもらえればと期待しています。



講師を務めた長谷川先生



心臓の音を聴く学生たち

夢実現・ドクターセミナー



医師を目指そうとする高校生を対象に、病院一日体験（夢実現・ドクターセミナー）を県内3病院で開催しました。

参加した高校生は、先生方の講話、診療室・手術室等の見学、AED講習、ギプス巻・カット体験などを通じ、医師を志す気持ちを強める機会となりました。



大館市立総合病院
7/31(木) 参加者11人



秋田赤十字病院
8/3(月) 参加者10人



平鹿総合病院
8/7(金) 参加者12人

指導医メッセージ



「より多くの経験と フィードバックを」

仙北組合総合病院
内科診療部長 仁村 隆 先生



仙北組合総合病院は、花火で有名な大曲（大仙市）にあります。当院では新臨床研修制度の前から研修医を（主に東北大から外科、整形外科に）受け入れてきました。現在は全国から集まりますが、最近秋田大が過半数を占め、内科系希望も多くなっています。

約15万人の二次医療圏をカバーし、各科とも急性から慢性疾患までこの地域の医療を支えている自負があります。救急はこの地域の7割以上の患者が当院に集中し、県内随一の受入数を誇り、各研修医とも多くの症例を経験できます。

研修医勉強会、画像診断勉強会、救急症例検討会などで経験症例の反省や、他の研修医の経験も吸収できるシステムがあるのは当然ですが、当院の指導方針の基本は、見学よりも研修医自身が実際に手を下すことです。採血、留置針挿入などは集中トレーニング後にすぐに自立します。カテーテル挿入も、2～3例を見学した後は研修医が手技者となります。日頃の指示だしも研修医が自分の考えで行います。勿論常に指導医のチェックで軌道修正され、フィードバックが図られます。

多くの症例を経験できる当院で医師としての方向性を決める一番大事な時期を過ごしてみませんか。



市立秋田総合病院

〒010-0933 秋田市川元松丘町4番30号
tel 018-823-4171 (代表)

当院はJR秋田駅から車で約15分の官公庁街近くに位置する秋田中央地域の中核病院です。

標榜診療科は23科で、救急告示病院、臨床研修指定病院、肝疾患診療連携拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院などの指定・認定を受けています。総病床数は458床で、一般病床376床、精神病床60床および秋田周辺医療圏内で唯一の結核病床22床を有しており、急性期医療だけでなく、他の総合病院では運営困難な政策医療の提供も行っています。さらには各種健康教室、出前健康講座等を開催し、医療や健康増進に関する市民への情報提供にも努めるなど、自治体病院としての役割を果たしています。

臨床研修に関しては、平成16年度の研修医受入れ開始後、指導体制や研修環境の整備に努め、平成21年4月には卒後臨床研修センターを新設するなど、近年、特に力を注いでおり、秋田県内における研修医や若手医師の育成に貢献しています。

今後も、当院の理念に基づき、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続け、地域医療の向上に貢献していきたいと考えています。



医学生スキルアップキャンプの開催

医学生のみなさんを対象に、1泊2日でスキルアップキャンプを開催します。診療科別集中セミナー、先輩初期研修医のケースカンファレンス発表会見学など、研修と交流を主とした内容です。

期 日：平成21年10月31日（土）～11月1日（日）
会 場：ホテルサンルーラル大湯（秋田県大湯村）
募集定員：40名程度

参加費・宿泊費は無料です。県外大学からの参加者については、秋田駅までの旅費も支給します（秋田駅からは送迎バス）。参加を希望される方は下記にお問い合わせください。

… お問い合わせ先 …

E-mail : ishikakuho@pref.akita.lg.jp Tel. 018-860-1410
秋田県健康福祉部医務薬事課 医師確保対策推進室 〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号